



contents

- P 2 予算の基礎知識
 - P 4 歳入（1年間の市の収入）
 - P 6 歳出（1年間の市の支出）
 - P 8 令和7年度 相模原市の主な取組
 - P10 相模原市財政状況
 - P12 相模原家の家計簿
 - P13 寄附金制度のご案内
 - P14 宝くじ情報
-



予算の基礎知識

まずはじめに、
基本的な疑問にお答えします。
予算とはどういうものなのでしょうか？

Q 予算って何？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

どんな収入がいくら入ってきて、そのお金をどんな仕事にいくら使うのか、あらかじめ決めておく必要があります。

最初に決める1年間の予算を「当初予算」といいます。

予算(収入と支出の計画)

収入(歳入)	支出(歳出)
・市税 ・使用料 ・国庫補助金 など	・福祉 ・教育 ・消防 など

Q 予算ってどうやって決めるの？

A 市長がつくった予算案が市議会の議決によって予算として成立します。

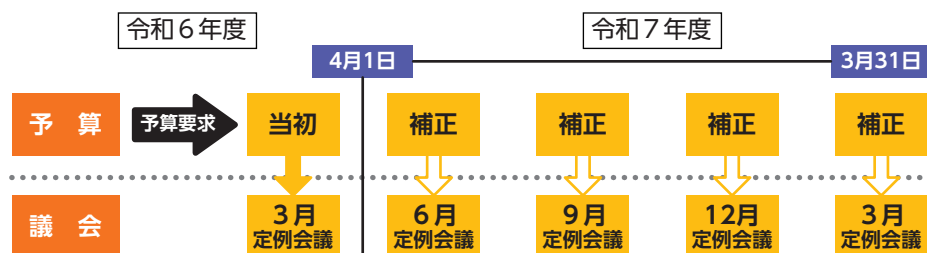
皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算案を作成します。

その予算案は、市民を代表する市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、市議会へ提出します。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出された予算案が市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。





Q

令和7年度の相模原市の当初予算はどのくらい？

A

一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計をあわせると、6,096億円になります。

一般会計

3,750億円

子育て、福祉、教育、道路整備などの基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

2,027億円

特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など、9つの特別会計があります。

国民健康保険事業
介護保険事業
母子父子寡婦福祉資金貸付事業後期高齢者医療事業
麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業
自動車駐車場事業公共用地先行取得事業
財産区
公債管理

※特別会計予算額は9つの特別会計の合計額

公営企業会計

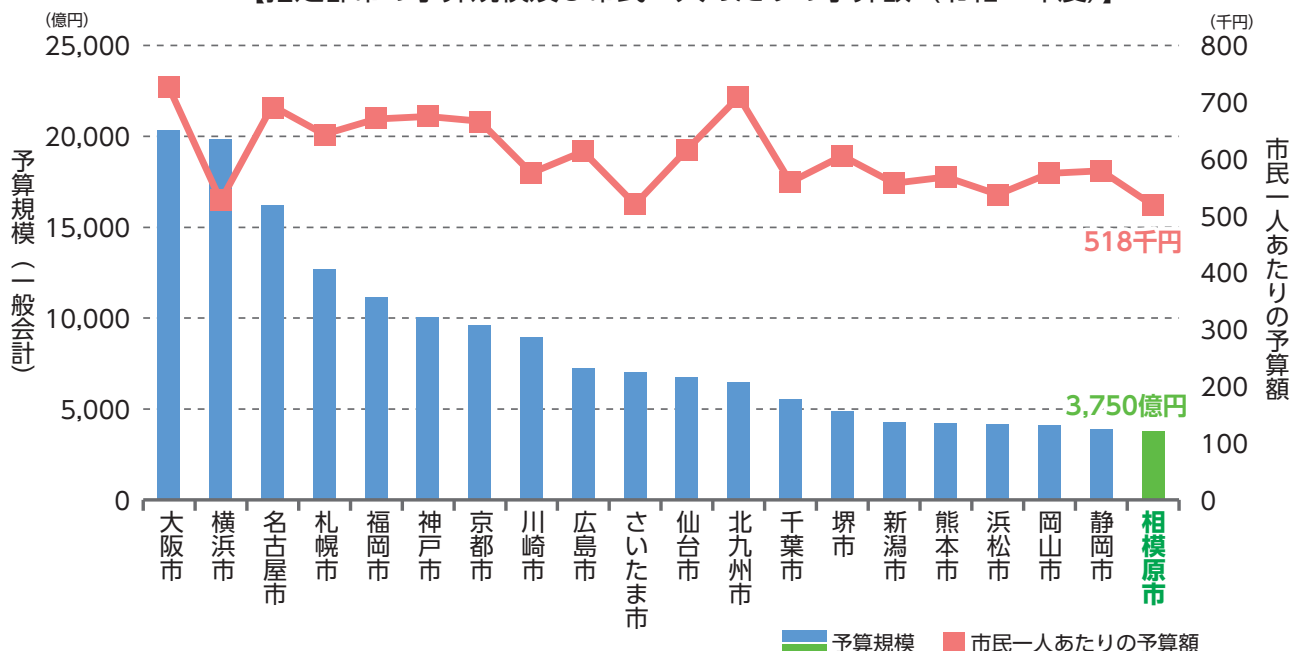
319億円

市が運営する企業の会計で、下水道、簡易水道があります。

下水道事業 簡易水道事業 ※公営企業会計予算額は2つの公営企業会計の合計額

※予算額は億円未満を四捨五入

【指定都市の予算規模及び市民一人あたりの予算額（令和7年度）】



※市民一人あたりの予算額は、令和7年1月1日現在の「推計人口」から算出しています。



POINT

指定都市の中では、最も小さい予算ですが、一般会計については、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、子育て関連の取組の充実や物価高騰への対応、老朽化した公共施設の改修などの経費を増加させたことにより、過去最大の予算（対前年度比9.8%増）となりました。

歳入 1年間の市の収入

つづいて、市の収入である
歳入について説明します。

Q

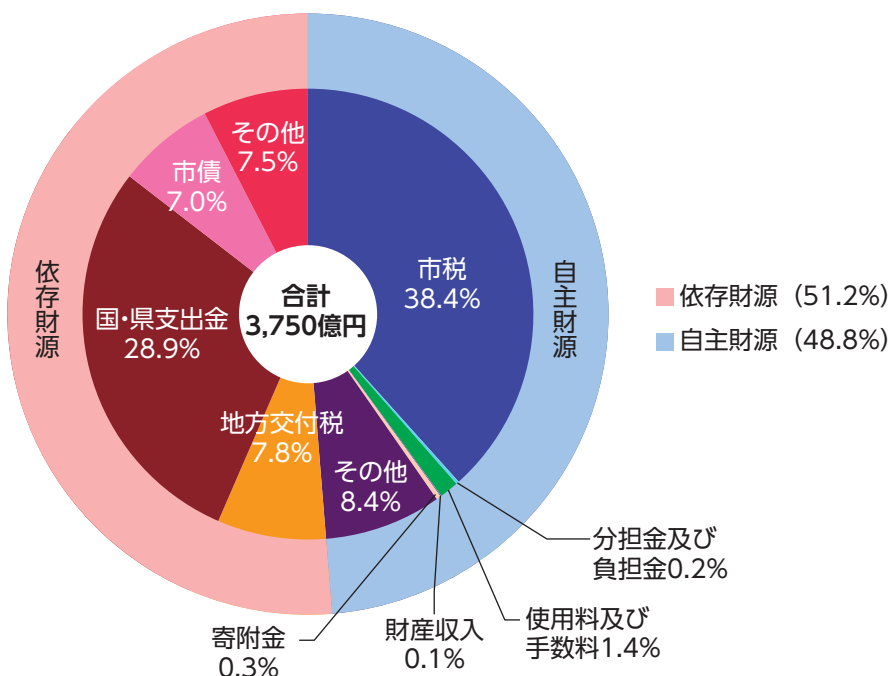
市の収入にはどんなものがあるの？



A

市税や国・県から交付されるお金、借入金（市債）、
施設の使用料などがあります。

【一般会計歳入予算】



依存財源

地方交付税

292億円

皆さんが国に納めた税金の一部です。地方公共団体の財政状況等に応じて配分されます。

地方消費税交付金

173億円

皆さんが納めた消費税の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

国・県支出金

1,086億2,204万円

皆さんが国や県に納めた税金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

市債

261億4,210万円

事業を実施するために、国や金融機関などから借り入れるお金です。

自主財源

市税

1,438億円

皆さんから相模原市に納めていただく税金です。

分担金及び負担金

7億8,226万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

使用料及び手数料

50億7,639万円

市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

財産収入

3億476万円

市が持っている財産の貸付けや売払いなどにより得たお金です。

その他

327億3,747万円

各種基金からの繰入金や繰越金、寄附金などです。



POINT

- ①収入のうち、「市税」が最も大きな割合を占めており、全体の約4割となっています。
- ②「自主財源」とは、市が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。
「自主財源」の割合が大きいほど、財政は安定していると言えます。



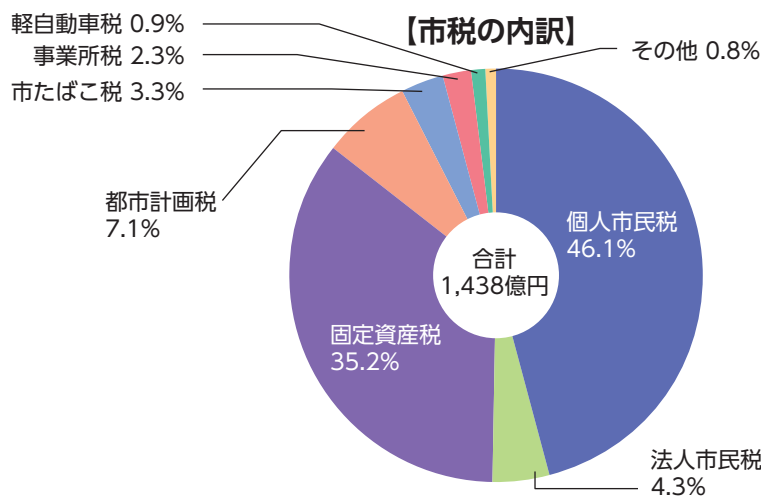
Q

市税にはどのようなものがあるの？

A

市税には以下のものがあります。

個人市民税	個人の前年の所得にかかる税	662億2,085万円
法人市民税	市内に事業所等がある法人にかかる税	62億1,482万円
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税	506億6,991万円
都市計画税	市街化区域内（積極的にまちをつくっていくエリア）の土地・家屋にかかる税	102億 890万円
市たばこ税	たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税	48億1,182万円
事業所税	事業所等における事業活動にかかる税	32億6,940万円
軽自動車税	原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税	13億3,007万円



- ①市税収入は過去最大。働く人の給料が増えたことなどによる個人市民税の増収、会社が事業用の機械などを多く取り入れたことなどによる固定資産税の増収を見込んでいます。
- ②市税は、個人市民税と固定資産税が多く、全体の8割以上を占めています。

Q

国・県からのお金は何に使われているの？

A

皆さんが国や県に収めた税金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体へ交付され、皆さんが利用する道路や学校などの公共施設の建設や整備などに使っています。



ここ数年は国の補正予算での対応も含め、道路や河川などの整備の他に、経済対策などに関しても多くの額が交付されました。

歳出

1年間の市の支出

つづいて、市の支出である歳出について説明します。



Q

どんな目的の支出があるの？

A

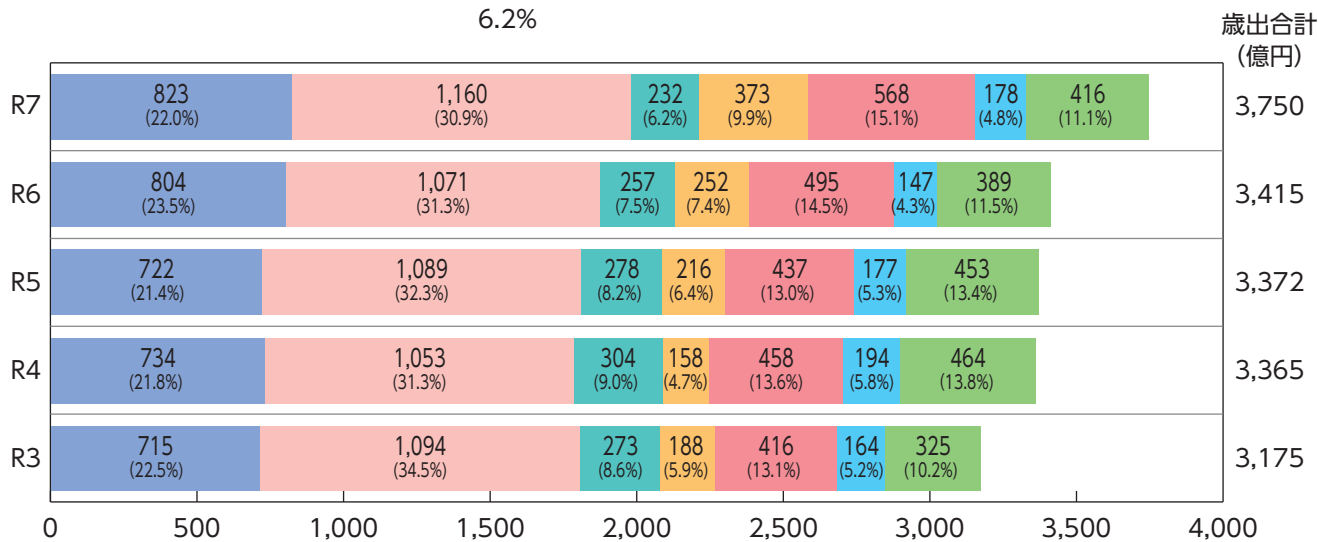
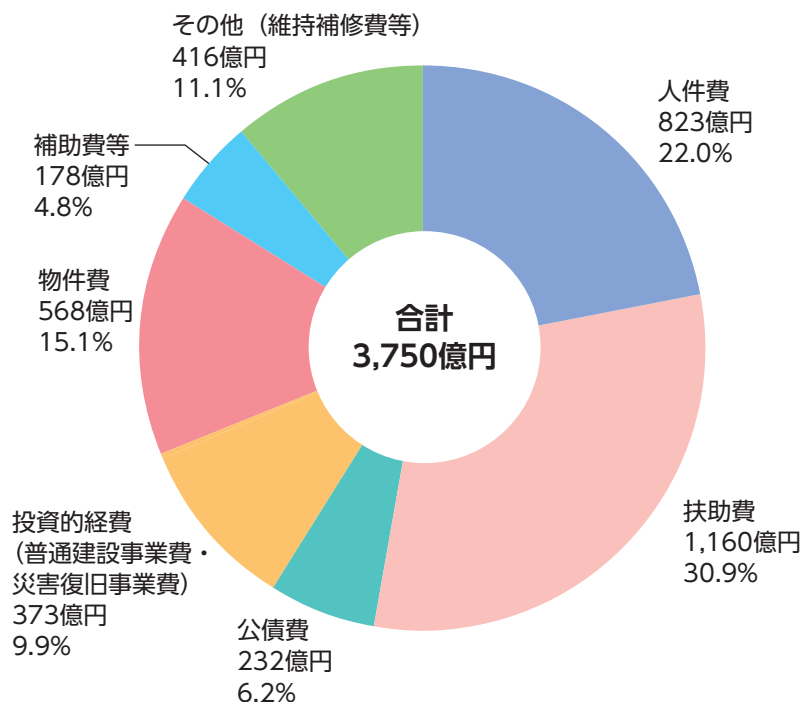
福祉(民生費)、教育や土木などがあります。

目的別経費	当初予算額	一人あたりの 予算額※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	11.9億円	1,650円	0.3
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	372.2億円	51,457円	9.9
民生費 (子育て支援や高齢者・障がい者福祉などに要する経費)	1,629.2億円	225,207円	43.4
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	321.1億円	44,382円	8.6
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	6.8億円	945円	0.2
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	11.2億円	1,553円	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	159.6億円	22,054円	4.3
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	283.2億円	39,141円	7.5
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	100.4億円	13,883円	2.7
教育費 (学校教育、生涯学習などに要する経費)	610.0億円	84,327円	16.3
公債費 (借金の返済などに要する経費)	232.3億円	32,116円	6.2
その他 (災害復旧に要する経費など)	12.1億円	1,665円	0.3
合 計	3,750億円	518,380円	100.0

※一人あたりの予算額(円)は、令和7年1月1日現在の人口から算出しています。



子育て支援や高齢者・障がい者福祉などに要する経費である民生費が全体の4割以上を占めており、次いで、学校教育、生涯学習などに要する経費である教育費が約2割となっています。

**Q****市の人件費はどのくらい？ 扶助費は？****A****支出を性質別に分けると、人件費は全体の約2割、扶助費は約3割となっています。****【一般会計歳出予算】**

■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 投資的経費 (普通建設事業費・災害復旧事業費) ■ 物件費 ■ 補助費等 ■ その他 (維持補修費等)

※令和3年度から5年度は決算額、令和6、7年度は当初予算額で示しています。

**① 扶助費の割合が高い**

扶助費とは、生活困窮者、高齢者、児童、障がい者等に対する様々な支援を行うための経費です。少子高齢化の進行などにより歳出全体に占める割合が大きくなっています。

② 人件費は増加傾向

市人事委員会勧告に基づく月例給等の引き上げなどにより近年増加傾向となっています。

令和7年度 相模原市の 主な取組

本市の将来像の実現に向けた、
「特に重点的に力を入れる取組」や
「市の個性を生かす分野」について説明します。

Q

「特に重点的に力を入れる取組」や「市の個性を生かす分野」ってなんだろう？

A

少子高齢化が進む中で、「都市と自然のベストミックス」などの相模原市の特徴を生かし、住みやすいまち、魅力あるまちとして、多くの人々に選ばれ、将来にわたって発展を続けていくために必要な取組です。

- 特に重点的に力を入れる取組 「少子化対策」・「雇用促進対策」・「中山間地域対策」
- 市の個性を生かす分野 「子育て」・「教育」・「まちづくり」

【特に重点的に力を入れる取組】

少子化対策

主な
取組

- ▶ 相模原市子育て応援条例を基に、社会全体で子育てを
応援する機運の醸成を図るための取組 1,689万円
- ▶ 淵野辺公園へのふわふわドームの整備や、相模原麻溝公園への
ロング滑り台の設置に向けた取組など 7億 718万円
- ▶ 本市独自の婚活イベントや、ライフデザインセミナーの
開催など 3,746万円



雇用促進対策

主な
取組

- ▶ 株式上場などを目指す人材の創出に向けた
起業家への支援の拡充 5,087万円
- ▶ 障がい特性に応じた働き方の促進や、障がい者雇用の
拡大に向けた支援 1,748万円
- ▶ 市就職支援センターでの分野横断的な支援 1億9,555万円



中山間地域対策

主な
取組

▶ 現行の路線バスや乗合タクシーなどの
再編に向けた実証運行の実施

2,635万円



▶ 道の駅の設置に向けた基本構想の策定

1,000万円



▶ 中山間地域振興モデル地区（小原・青根）
推進事業の実施

3億6,904万円



【市の個性を生かす分野】

子育て

主な
取組

▶ 学校給食費の一部無償化
市立小学校と義務教育学校で1年生の学校給食費を無償化

2億4,096万円



▶ 1か月児健康診査事業
生後1カ月ごろの赤ちゃんの発育状況を確認する健康診査の受診促進に向けた費用の一部助成

2,349万円



教育

主な
取組

▶ 宇宙教育普及事業
宇宙を学ぶ教育環境の充実を図るための博物館プラネタリウムのリニューアルなど

3億3,353万円



▶ 温かさのある教育推進事業
中学校夜間学級の運営、校内登校支援教室の拡充など

2億5,882万円



まちづくり

主な
取組

▶ リニアまちづくり関連推進事業
リニア中央新幹線開業を見据えた橋本駅周辺の区画整理など

7億6,086万円



▶ 麻溝台・新磯野地区整備推進事業など
「産業・みどり・文化・生活」が融合した新たな都市づくりを進める拠点となる市街地整備の推進

19億9,839万円



各分野の取組が関連するSDGsの主な目標（ゴール）を各項目に表示しています。



- ① 社会全体で子育て世代を応援する意識を育み、子育て世代が喜びを実感しながら安心して子育てをすることができる社会を実現するため「相模原市子育て応援条例」の制定と併せて子育て関連施策の予算を充実させています。
- ② 市民のくらしの安全・安心を確保する観点から、老朽化した小中学校校舎、市営住宅、道路などの公共施設の改修事業などを実施する投資的経費を大幅増（対前年度比47.8%増）させ、充実させました。



相模原市 財政状況

相模原市の財政の現状について、
各種データに基づき説明します。



Q

市の財政は大丈夫なの？

A

借金が少なく、堅実な財政運営です！

健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全性を判断するための指標で、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、公表が義務付けられています。

	令和5年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	11.25
②連結実質赤字比率	—	16.25
③実質公債費比率	2.8	25
④将来負担比率	—	400

数値が早期健全化基準を超えると、財政再生に向けた取組をしなければなりません。

①実質赤字比率と②連結実質赤字比率は、赤字がないため「—」となっています。

③の実質公債費比率は、1年間の借金の返済費用が収入総額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです。

④の将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など、既に将来支払うことが決まっている金額等を含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです（令和5年度は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため算定されませんでした）。

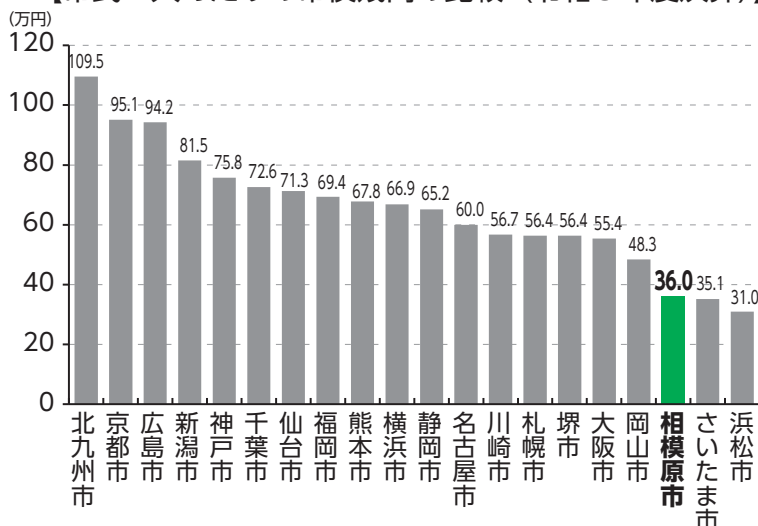
ともに数字が小さいほど、将来の借金の返済に対する負担割合が少ないということになります。

市債（市の借金）

市の令和5年度決算時点の市債残高は2,582億円となっており、市民一人あたりの市債残高を他の指定都市と比較すると、3番目に低くなっています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

【市民一人あたりの市債残高の比較（令和5年度決算）】





Q

市の貯金はどのくらいあるの？

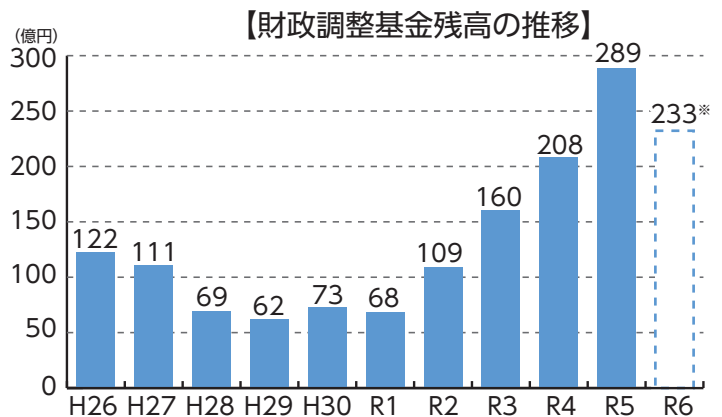
A

市の貯金にあたる「財政調整基金」は令和5年度末で289億円です。

財政調整基金（市の貯金）

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応するため、市でも貯金をしています。これを「財政調整基金」と呼んでいます。

※令和6年度の財政調整基金残高233億円（予算ベース）については、決算後に確定します。



Q

貯金があるのに、なぜ借金をするの？

A

皆さんも家や車を購入する時にローンを組むように、市も市債（市の借金）を活用しています。市債には公共施設などの建設費を将来利用する市民の方にも負担してもらうことで、現在の市民の方と将来の市民の方における「負担の公平」を図るという役割があります。

Q

貯金もあって、市の財政は健全なんだね！

A

健全とは言いつつも課題もあります。市の財政を家計に例えると、毎月のお給料の大半が固定経費（食費や光熱水費、ローン返済など）にあてられており、自由に使えるお金はほとんど残らない状況です。このため、普段から支出の抑制や収入の確保などの視点で、ひとつひとつの経費をしっかりと見直していく必要があります。

相模原家 の家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家を年収500万円（月41万7千円）として、市の予算を当てはめてみると…
主な財政指標を見てみましょう。

収入月額	家 計
給 与	34万4,400円
基本給（市税）	16万 100円
諸手当（地方交付税など）	18万4,300円
家賃収入 （使用料、手数料など）	5,800円
貯金の取崩し （基金繰入金）	1万2,500円
生活資金の借入金 （臨時財政対策債）	0円
家の増改築の借入金 （建設債など）	2万7,900円
その他（諸収入など）	2万6,400円
収入合計（月額）	41万7,000円

支出月額	家 計
食費（人件費）	9万1,700円
医療費（扶助費）	12万8,800円
ローンの返済（公債費）	2万5,900円
光熱水費、通信費、消耗品 （物件費）	6万3,000円
自治会費、習い事代 （補助費など）	2万円
家、車の維持・修理代 （維持補修費）	5,000円
家の増改築 （投資的経費）	4万1,300円
その他	4万1,300円
支出合計（月額）	41万7,000円

～『こと はじめ予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者（オランダ語で西洋の学問を学ぶ者）の苦勞が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか？

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまち

の財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。

相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政・債権管理】からアクセスしてください。

寄附で、あなたも市政に参加してみませんか！ 「暮らし潤いさがみはら寄附金」のご案内



寄附金は、あなたが指定した事業に活用されます！

市の事業のうち、幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
使い道を指定しない「一般コース」も選択できます。



寄附金は、税金から控除されます！

2,000 円を超える部分は税金から控除されます！（上限額があります）



「ふるさと納税ワンストップ特例制度」がご利用いただけます！

ふるさと納税による税の軽減を受けるためには、確定申告を行っていただく必要がありますが、寄附をする方が寄附先の自治体へ所定の様式による「申告特例申請書」の提出を行うことで、確定申告を行わなくても個人住民税の控除を受けることができます！

※ワンストップ特例の対象者は、ふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で所得税や住民税の申告を行う必要がない方で、その年にふるさと納税をする自治体の数が5 団体以下であると見込まれる方となります。

※相模原市の返礼品の受領は、市外に住民登録のある方に限られます。

【令和6 年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】

令和6 年度寄附金額 約**10億5,399万円**

多大なるご寄附ありがとうございます。皆様からお預かりした寄附金は、原則ご寄附いただいた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

【クラウドファンディング型ふるさと納税】

本市では令和6 年度からクラウドファンディング型ふるさと納税の取組を開始しました。令和7 年度も秋頃からの実施に向けてプロジェクトを検討中です。引き続き、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

<令和6 年度 実施結果>

令和6 年度は以下の3 プロジェクトを実施し、合計215件、3,571,300円のご支援をいただきました。いただいたご寄附は、各事業において令和7 年度に活用させていただきます。

あたたかいご支援をいただき、ありがとうございました。

TOJ の開催支援



（写真提供：TOJ 組織委員会）

動物愛護支援



こどもの読書支援



※クラウドファンディング型ふるさと納税とは…

自治体や返礼品から寄附先を選んでいただく従来のふるさと納税と異なり、寄附の使い道から、寄附先を選んでいくふるさと納税です。

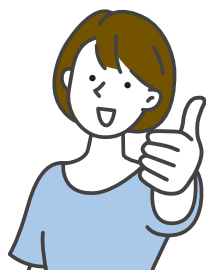
市内の方でも、市外にお住まいの方でも、事業にご賛同いただける個人の方ならどなたでもご参加いただけます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。か、財政課まで

「宝くじ」のご購入は相模原市内で

宝くじの売上の約4割は、収益金として都道府県及び指定都市の収入となり、その収益金は販売実績に応じて配分されるので、市内の販売実績が増えると市の収益金が増え、皆様の豊かな生活につながります。

宝くじを購入する際は、是非**市内**でお買い求めください！



令和6年度収益金

約**11億3,279万円**



ネット購入が便利です！

宝くじ公式サイトからも、宝くじを購入できます。

宝くじの購入から当選結果の確認、当せん金の受け取りまですべてネット上で完結します！ぜひご利用ください！

※宝くじ公式サイトでの会員登録の際の「購入者の登録住所地」が相模原市の場合、市の収入として活用されます。詳しくは、公式サイト (<https://www.takarakuji-official.jp/ec/>) をご確認ください。

令和6年度はこんなところで活用されています！

宝くじの収益金は、道路の整備や修繕、JR相模原駅北口の米軍との共同使用区域の一部を活用した「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」の整備などに活用させていただきました。



津久井広域道路道路改良事業



相模原スポーツ・レクリエーションパーク

税理士会は、法律により資格を与えられた唯一の「税」の
専門家である税理士によって構成されています。

東京地方税理士会 相模原支部

住 所 相模原市中央区中央3-12-3 商工会館3F

連絡先 ☎ 042-759-0046（土・日・祝日は休み） URL <https://s-zei.org/>

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
浦上 裕生

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3（商工会館内）
TEL 042（750）2838 FAX 042（750）2855

URL: <http://www.e-jimu.jp> e-mail: kumiai@e-jimu.jp

(有) オ オ ヌ マ 042-778-4290

菊屋浦上商事(株) 042-754-9211

(有) 橋 南 堂 042-772-2408

越 路 屋 042-742-7773

B S D 一 和 042-685-1511

(株) 文 盛 堂 042-752-2303

(株)宝月堂文具店 042-730-3917

(株)マルスギ包装システム 042-755-8510

(株)ミリオン事務機器 042-784-3856

(株)ユニックス 042-748-9836

(有)渡邊文相堂 042-761-5518

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は



有限会社

トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<https://www.t-h-kuno.co.jp/>



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
19社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド（ナイスガイドさがみはら）作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会（年1回開催）等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 山本 博之

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 FAX 042(776)5656 <https://www.soin.or.jp/>



Bank of Yokohama

横浜銀行

相模原駅前支店

〒252-0231

相模原市中央区相模原2-1-1

TEL：042-754-1234



きらぼし銀行

<https://www.kiraboshibank.co.jp>